



<同時発表>
・国土交通省

<問い合わせ先>
開発建設部 景観環境事業調整官 高本
直通：098-866-1908(建設行政課)

沖縄総合事務局
平成25年1月31日

「手づくり郷土賞」〔国土交通大臣表彰〕

沖縄市の「越来城水辺公園」が受賞！

国土交通省が地域の魅力や個性を創出し、地域のシンボルとなっている良質な社会資本とそれと関わりがある優れた地域活動について表彰する平成24年度「手づくり郷土賞」の「一般部門」に県内から沖縄市の越来城水辺公園が選ばれました。

※「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、良質な社会資本と優れた地域活動を一体の成果として発掘し、好事例として広く紹介することにより魅力ある郷土づくりに向けた取り組みが一層推進されることを目指して、今年度で27回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

平成24年度「手づくり郷土賞」応募及び受賞状況

数字は全国、()内は沖縄県内数

	応募数		受賞数	
一般部門	36	(2)	16	(1)
大賞部門	8	(0)	2	(0)

沖縄県内の受賞状況 (S61~H23)

	受賞数	近年の受賞件名
一般部門	23	H22「備瀬のフクギ並木」
大賞部門	1	H17「竹富町家並」

なお、2月18日には認定証授与式(詳細は「別紙-3」参照)を行い、選定された団体に対し沖縄総合事務局から認定証を授与する予定です。併せてお知らせいたします。(当日は報道機関公開となります)

一参考一 国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」ホームページ及び国土交通省記者発表
(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tebukuri/index.html>)
(<http://www.mlit.go.jp/report/press/index.html>)

目的

全国各地において、地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として再認識し積極的に活用した、魅力ある地域づくりに成功している事例が数多く見受けられます。

このように、地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、「手づくり郷土賞」として表彰するとともに、好事例として広く紹介することにより、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

部門

手づくり郷土賞(一般部門)

募集対象

手づくり郷土賞(大賞部門)

地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果

選定のポイント

手づくり郷土賞の選考は、以下の視点に着目して行われます。

- ①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫
(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)
- ②地域活動における創意・工夫、取組の独創性
(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)
- ③地域づくりへの成果及び波及効果
(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)
- ④今後の活動の継続性・発展性
(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)
- ⑤他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥その他(上記以外の特に優れた内容)

- ①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫
(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等)
- ②地域活動における創意・工夫、取組の独創性
(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等)
- ③地域づくりへの成果及び波及効果
(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等)
- ④今後の活動の継続性・発展性
(住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等)
- ⑤他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥その他(上記以外の特に優れた内容)
- ⑦社会資本の地域への定着状況
(地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に活用等)
- ⑧活動の継続状況
(規模を広げながら着実に継続している等)
- ⑨活動の発展状況
(新たな取組を創出している、他地域へ波及している等)

応募団体

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体、又は社会資本を管理する地方公共団体(都道府県、市区町村)との共同で応募することができます。

選定委員会

- 委員長： 西村 幸夫 東京大学 副学長
荻原 礼子 結まちづくり計画室 代表
齋藤 潮 東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授
佐々木 葉 早稲田大学理工学術院 教授
田村 美幸 公共の色彩を考える会 名誉会長
藤吉 洋一郎 大妻女子大学文学部 教授
森反 章夫 東京経済大学現代法学部 教授
中島 正弘 国土交通省総合政策局長

※ 詳細については、国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」ホームページをご覧ください。
(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/index.html>)

○件 名：災害を乗り越え、地域コミュニティ活動の拠点となった
ぎーくぐすくみずべこうえん
 歴史と伝統の越来城水辺公園

ごえくじょうかまち

○応募団体：・越来城下町まつり実行委員会
 ・沖縄市

○概 要：大雨による氾濫で浸水被害が発生していた沖縄市を流れる比謝川において、治水整備に併せた公園整備計画を地元住民が参画したワークショップで検討したことがきっかけとなり、周辺8自治会（約3600名）からなる「越来城下町まつり実行委員会（公園の利活用団体）」が発足しました。平成20年11月の「越来城水辺公園」竣工時には、当委員会手づくりによる「越来城下町まつり」が開催され、現在では毎年の恒例行事として昨年5回目を実施。また、こいのぼり祭りなどの地域イベントや、美化清掃、防犯パトロール等活動に広がりが見られ、今では同公園が地域のコミュニティ活動拠点として象徴的に活かされています。



まつりやこいのぼり、清掃作業やパトロール、ウォーキングや川遊びなど様々な取り組みが広がり、今年で5年目を迎える。公園が心の故郷になっており、地域の活性化に大きく貢献している。

○選定委員会評価コメント

- ・計画段階からかかわった「公園」を、周辺の8自治会が維持管理し、様々なイベントはもとより、「越来城下町まつり」のメイン会場としても活用している。
- ・水害をのりこえて、地域の人々のふるさとの川への想いが整備に活かされた。
- ・河川改修を地元住民とともにすすめ、維持管理に地元住民が積極的に関与するに至った点は評価できる。

○受賞件名：災害を乗り越え、地域コミュニティ活動の拠点となった
ぎーくすくみずべこうえん
歴史と伝統の越来城水辺公園

○受賞団体：・越来城下町まつり実行委員会
・沖縄市

○日 時：平成25年2月18日（月）13：00～（30分程度）

○場 所：沖縄市役所 玄関前広場（雨天時は市役所内）

○出席予定：・越来城下町まつり実行委員会
・沖縄市（市長、副市長）
・沖縄総合事務局（次長（開発建設担当））

「授与式会場」位置図



「越来城水辺公園(受賞箇所)」位置図



手づくり郷土賞過去の年度別受賞一覧

No	市町村	案件別(テーマ・部門別)	受賞年度
1	竹富町	竹富町家並(人と風土が育てた家並み)	S61
2	沖縄市	中央パークアベニュー(いきいきとした楽しい街並み)	S62
3	久米島町	フクギ並木と道路(ふれあい並木道)	S62
4	浦添市	屋富祖ポケットパーク(小さいふれあい広場)	S63
5	那覇市	開南せせらぎ通り生活の中にいきる水辺	H元年
6	糸満市	嘉手志川(生活を支える自然の水)	H2
7	石垣市	於茂登トンネル抗門(玉乗り獅子)	H3
8	浦添市	市道3号線(施設部門)	H3
9	竹富町	白い道路と町並み(素材部門)	H3
10	宜野湾市	ふんしんせせらぎ通り(くらしに根づく施設)	H4
11	那覇市	久茂地川親水遊歩道(ふるさとの色と光)	H4
12	浦添市	大平バス停パーク(出会いを演出する街角)	H5
13	北谷町	美浜橋(ふるさと風景にとけこむ道)	H5
14	宜野湾市	真志喜ポケットパーク(ふるさとの文化を育む街角広場)	H6
15	那覇市	壺川東公園(人々が集う憩う水辺づくり)	H6
16	うるま市	野鳥の森自然公園	H7
17	嘉手納町	野國總管公園	H7
18	糸満市	西崎親水パーク	H8
19	伊是名村	尚円王御庭公園	H9
20	北谷町	北谷町営業口住宅	H10
21	宮古島市	伊良部カントリーパーク	H11
22	宮古島市	うえのドイツ文化村(村営住宅)	H13
23	竹富町	竹富町家並(人と風土が育てた家並み)	H17(大賞)
24	本部町	備瀬のフクギ並木	H22

過去の受賞24件(23カ所) ※竹富家並みが大賞受賞